

市議会 だより

令和2年3月定例会報告

鶴ヶ島市議会

バンドマンは投票に行きます!!



鶴 TSURU

鶴ヶ島市出身の3人組ロックバンドに
インタビュー

目次

令和2年度当初予算特集	2
3月定例会報告	6
委員会審査（第6次鶴ヶ島市 総合計画（前期基本計画））	8
委員会審査（条例）	9
委員会審査（補正予算）	9
◆一般会計・特別会計	
議員政治倫理条例を議決	10
市民・団体インタビュー	12

注目しました！”

全議員で委員会審査

※審査内容の詳細は4、5ページに掲載

第6次総合計画の
初年度の当初予算！
未来に向けた投資
に徹底審議！



近藤英基
議長

※議長は議事進行を行うため、本会議の審議及び採決には加わりません。



内野嘉広
議員

圏央鶴ヶ島IC・農大跡地周辺の将来を見据えた交通ネットワークの構築に期待！



出雲敏太郎
議員

児童館トイレ改修や小・中学校情報教育などの子どものための予算に注目



石塚節子
議員

安心して医療が受けられる街に憲法25条を生かせ!!



太田忠芳
議員

窓口外部委託は、市民サービスの劣化を招く



大野洋子
議員

消費税の引上げ分は、介護や国保、児童福祉などに使います



小林ひとみ
議員

安心して子育てできる環境整備を



松尾孝彦
議員

「未来に向けて持続可能なまちづくり」の積極的な推進



山中基充
議員

みらいを育む鶴ヶ島へ 1人1台のタブレットICT活用で皆に寄り添う教育への序曲

令和2年度 当初予算

“私はこのことに



漆畑和司
議員 (監査委員)

念願の町屋地区
鎌倉街道の道水路
整備！
段階的な整備の
促進！

一般会計

218億3000万円

特別会計 (合計)

約129億2394万円



藤原建志
議員

子育て支援の推進
学校教育の充実
を目指して



金泉婦貴子
議員

まちづくりの再生は
子育て支援の充実と健康長寿の推進



大曾根英明
議員

我が街「つるがしま」の将来！
安心・安全に暮らせるまちづくり！



高橋剣二
議員

「10年後の鶴ヶ島を見すえて」
鶴ヶ島市総合計画の着実な実施を！



杉田恭之
議員

「未来世代のために」
子育て施策を期待します



小川 茂
議員

子どもにやさしいまちづくり
「小・中学校体育館LED照明導入事業」



持田靖明
議員

未来を担う鶴ヶ島の子ども達へ
「教育環境・子育て支援」の充実



長谷川清
議員

注目すべきところが無いことが
大問題だ！

子育て支援体制の充実、 鶴ヶ島駅周辺地区拠点整備構想策定事業など

一般会計予算 218億3000万円
(前年度 215億4000万円)

令和2年度の鶴ヶ島市一般会計予算と特別会計予算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。
委員会での審査結果は、いずれも「可決すべきもの」で、3月16日の本会議での採決の結果、可決されました。

市税全般

Q 税制改正等による影響は。

A 財政課長 地方消費税交付金の増額などで歳入が増えるが、幼児教育・保育の無償化や社会保障経費などの財源となる。



市役所庁舎

人件費

Q 第6次総合計画では、職員の人数的方向性が示されていない。職員数の構想は。

A 人事課長 3年度以降の定員管理計画は、現在のところない。自治体戦略2040構想を念頭に置き、現在の半数の

職員で担うべき機能が果たせるように体制や業務を整理し、組織や職員数を検討する。

鶴ヶ島駅周辺地区拠点整備構想策定事業

Q 整備構想策定後の予定は。

A 政策推進課長 養命酒製造株式会社の工場跡地に移転する株式会社関水金属の工場整備と併せて、隣接する鶴ヶ丘児童公園や鶴ヶ島文化会館を一体的に整備し、新たな地域の魅力として活性化につなげたい。

整備構想の策定後は、国の交付金を受けるために都市再生整備計画を策定する。

住民異動等窓口業務委託事業

Q 秘匿義務の遵守の担保は。

A 市民課長 提案募集に際し、プライバシーマークなどの公的認証を取得していることを参加要件の1つとする。また、仕様書や契約書にも個人情報保護の徹底について明記する。

Q 業務委託がサービス向上につながるのか。

A 市民課長 フロント業務への傾注による接遇の向上や、3月と4月の混雑期における従事者増員が可能になるなど、サービス向上が期待できる。

コミュニティ活動推進事業

Q 地域支え合い協議会と自治会の役割の区分けで争い地域もある。今後の展開は。

A 地域活動推進課長 個別に活動するべきことがある。地域活動するべきことがある。地域の特徴も踏まえながら支援する。



児童・家庭総合相談支援事業

Q 統合を行った経緯は。

A ことも支援課長 児童虐待の通告や子どもの養育・発達に関する相談などの件数が年々増加している。このため、子どもや子育て家庭への包括的な相談支援体制の構築を進めるために相談事業を統合したものである。

Q ネットボラの成果は。

A 保健センター所長 出産前から定期的に対話を重ねること、出産後も母子及びその家族との信頼関係を築くことができている。そのため、悩みや

課題を早期に把握することができ、解決に結びついている。

高齢者在宅福祉推進事業

Q 高齢者等緊急ごみ戸別収集サービスの課題は。

A 高齢者福祉課長 単身高齢者の増加や地域のつながりの希薄化が課題である。地域支え合い協議会の助け合い隊のサービスと合わせて事業を進める。

不妊治療費助成事業

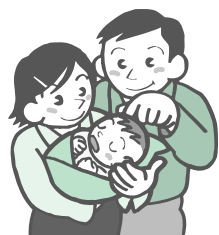
Q 予算増の要因は。

A 保健センター所長 助成対象者が増加したためである。近年の傾向として、不妊治療への理解が進んだことや助成制度の周知により、不妊治療を望まれる方が増えている。

都市農業活性化推進事業

Q 行政が行う分野を位置付け、それ以外の分野は業務委託するなどの考えは。

A 産業振興課長 新規就農者への助成金を計上しており、



地域に根差した農産物を栽培していただきたくと考えている。また、立地を活かした観光農業で人を呼ぶため、観光農業推進協議会を設立し、農家の方たちの活動を行政が支援していく。

地域経済応援事業

Q 消費増税に対応するための事業と理解してよいのか。

A 産業振興課長 消費増税に伴う需要の平準化、消費の下支えのための事業である。

道路水路整備事業

Q 市道1033号線（鎌倉街道）の整備についての考え方は。

A 道路建設課長 安全面の確保を第一に考え、沿道の住民と調整し、設計に反映する。



市道1033号線（鎌倉街道）

災害対策事業

Q 地域との情報の伝達訓練、地域の伝達体制のきつかけ

づくりについての考えは。

A 安心安全推進課長 昨年のは台風第19号では市民への情報伝達面で課題が残ったため、防災訓練等で情報伝達訓練を検討し、工夫していきたい。



総合防災訓練の様子

小学校体育館LED照明導入事業

中学校体育館LED照明導入事業

Q 授業、部活動、学校開放などへの影響は。

A 教育総務課長 使用中や使用制限を行い施工するため、協力をいただくことになる。

小学校情報教育推進事業

中学校情報教育推進事業

Q 情報リテラシーについての教育をすべきでは。

A 学校教育課長 情報リテラシーや情報モラルは重要であり、発達段階に応じて指導していく。

学校法務相談等体制整備事業

Q 相談体制の具体例は。

A 学校教育課長 保護者等の対応で、過度な要求に対して、法的な観点のアドバイスをもらうことなどを想定している。

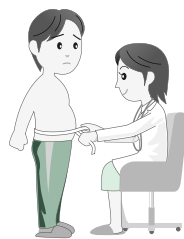
国民健康保険

Q 保険税滞納の実態は。

A 収納課長 滞納世帯数と差押えの処分件数は、前年と比較して減少している。

Q 特定健診の受診率向上のための取組は。

A 保健センター所長 過去の実績を基にAIを活用し、タイプ別の受診勧奨の通知を送付しており、成果が出ている。



後期高齢者医療

Q 保険料の滞納者数は。また、窓口負担増加に対する要望等は行わないのか。

A 保険年金課長 滞納者数は51人で、滞納金額が322万5970円である。埼玉県後期高齢者医療広域連合が、国に対して窓口負担の据置きを要望等を行っている。

介護保険

Q 高齢者数増加のほかに、保険給付費が上がる要因は。

A 高齢者福祉課長 居宅サー

ビス費に加え、本年4月には、鶴ヶ丘地内に特別養護老人ホームが開設される予定のため、施設サービス費を増額している。

Q 地域支援事業の取組は。

A 高齢者福祉課長 健康長寿の視点で事業を見直し、介護予防教室が行われていない地域等、市内12か所に民間のインストラクターを派遣する。

一本松地区区画整理事業

建物等の移転に要する経費、道路等の整備に要する経費を中心に計上され、前年度比895万36000円、29・5割の減となります。



一本松駅南口駅前交通広場

若葉駅西口地区区画整理事業

Q 延長した5年で残務整理を含めた事業が終了するのか。

A 区画整理課長 公債費等の負担も今後少なくなっていくため、事業費負担にめどがついている。相手があることだが、確実に終わるように進めていく。

特別会計予算 () は、前年度予算額

国民健康保険	64億4684万円 (67億7230万円)	一本松土地区画整理事業	2億1364万円 (3億317万円)
後期高齢者医療	8億6064万円 (7億4699万円)	若葉駅西口土地区画整理事業	3億6602万円 (4億1576万円)
介護保険	50億3681万円 (43億7292万円)		

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	新政クラブ					大空・つるがしま未来			公明党		日本共産党		長谷川清	賛成	反対・賛成せず		
				持田靖明	小川茂	杉田恭之	高橋剣二	金泉婦貴子	藤原建志	出雲敏太郎	内野嘉広	近藤英基	大曾根英明	漆畑和司	山中基充				松尾孝彦	小林ひとみ
議案第12号	農業委員会委員の任命について(小川 佐智恵氏)	おがわ さちえ氏	同意に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第13号	鶴ヶ島市まち・ひと・しごと創生推進審議会条例を廃止する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第14号	非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第15号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第16号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第17号	鶴ヶ島市市営住宅条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第18号	鶴ヶ島市監査委員条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第19号	令和元年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第6号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第20号	令和元年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第7号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第21号	令和元年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第22号	令和元年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第23号	令和元年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算(第4号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第24号	令和元年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第25号	令和元年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第26号	第6次鶴ヶ島市総合計画(前期基本計画)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
議案第27号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	14	3
議案第28号	令和2年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	15	2
議案第29号	令和2年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	15	2	
議案第30号	令和2年度鶴ヶ島市介護保険特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	15	2	
議案第31号	令和2年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第32号	令和2年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第33号	令和元年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第8号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第34号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議・議案第1号	鶴ヶ島市議会議員政治倫理条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

基本計画

前期基本計画は、令和2年度から11年度までのまちづくりの指針となる「第6次鶴ヶ島市総合計画」のうち、2年度から6年度までの5年間に取り組むべき内容を具体的に示したものです。

総合計画は、基本構想と基本計画からなる市の最上位計画です。

本市議会では、「基本計画」を鶴ヶ島市議会基本条例に基づく議決事件としており、新たに設置した「前期基本計画審査特別委員会」に付託し、審査を行いました。

委員会での審査結果は「可決すべきもの」で、3月16日の本会議において採決の結果、可決されました。

議案第26号
第6次鶴ヶ島市総合計画（前期基本計画）について

地域連携による子育て支援

Q 子育て支援の充実としての子どもの居場所づくりは。

A とも支援課長 学童保育室や放課後子ども教室の実

施を中心に、庁内や地域支え合い協議会等と連携して居場所づくりを進めていきたい。

教育環境の充実

Q 教員の働き方改革に向けた取組は。

A 学校教育課長 統合型校務支援システムを導入して出

退勤を管理し、それぞれが在校時間を意識することで、子どもと向き合う時間の確保に努めていきたい。



歴史・文化の継承と芸術の振興

Q 文化財の保存状況と今後は。

A 生涯学習スポーツ課長 文化財整理室と旧庁舎で保存

している。今後は、保存物の増加や建物の老朽化に対応するた

め、公共施設個別利用実施計画の検討を踏まえ、今後の方向性を検討していく。



保存している文化財

健康づくりの推進

Q 健康無関心層へのアプローチは。

A 健康増進課長 様々な媒体

を活かした健康づくり情報の発信や、市民の中に健康づくりの知識を持ち、宣伝できる方を増やす取組を継続的に行う。

Q フレイル予防の取組は。

A 健康増進課長 フレイルサポーター等を育成し、地域

でフレイルチェックを行っていく。

地域コミュニティの充実

Q 今後5年間の自治会への支援は。

A 地域活動推進課長 自治会

度から活動保険加入の補助を新たに考えている。また、週末に地域の活動が活発化することか

ら、土曜日に職員を市民センターに配置し、相談体制の強化を図っていく。

交通安全対策の充実

Q 自転車の交通安全対策は。

A 安心安全推進課長 小学校

での交通安全教室や高齢者の自転車安全利用講習会、そのほか街頭指導などの啓発活動等を行っているが、毎年自転車事故が多発発生している。3年度からの次期交通安全計画では、現状を勘案して対策を盛り込んでいきたい。



自転車安全利用講習会

工業の振興と地域資源の活用

Q にぎわいのある商店街の形成について、具体的取組は。

A 産業振興課長 鶴ヶ島駅西

口商店街を中心とした二カ所を軸として、活動のサポートしながら、にぎわいを創出していきたい。

Q いわゆる中小企業振興条例の策定の考えは。

A 産業振興課長 県内でも10市1町が制定している。本市も奨励策として商工会と連携しながら、創業に関する相談等の中小企業支援を行ってきた。

条例制定とは別だが、今後も相談等を通じ、地域の中小企業を盛り上げていく。

公園の整備と緑化の推進

Q 本計画における公園の多機能化・発展性とは。

A 都市施設保全課長 防災機能や地域コミュニティの場

としてなどの、地域に合った公園のリニューアルも必要であると考えている。

公共交通の充実

Q 一本松駅のバリアフリー化や駅改修等における今後の取組は。

A 都市計画課長 2年度に段階

化ができるよう進めている。また、南口改札の開設に向けて、引き続き東武鉄道株式会社と協議を進めていく。



条例

議案第13号
鶴ヶ島市まち・ひと・しごと創生推進審議会条例を廃止する条例について

議案第14号
非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第15号
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について



成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

め、関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、鶴ヶ島市印鑑条例における印鑑の登録資格に係る規定を改正等するものです。

議案第16号
正する条例について

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部改正に伴い、省エネ基準の評価方法を簡易に行うことができることとなったため、建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請等に係る手数料の規定を改正等するものです。

議案第17号
改正する条例について

民法の一部改正に伴い、市営住宅における不正入居者に対する住宅の明渡し請求を行った際に徴収する利息の利率を改正等するものです。



令和元年度の一般会計補正予算（第7号）及び特別会計補正予算5件が可決されました。

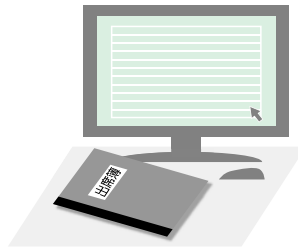
一般会計（第7号）

債務負担行為（統合型校務支援システム導入事業）

Q 進捗状況と導入による効果は。

A 学校教育課長 4月からの本格稼働に向け、業者と内容を詰めながら、着実に準備を進めている。

出席簿の管理や日々の成績の入力による指導要録作成など、事務手続の効率化が見込まれる。



幼児教育・保育の無償化

Q 幼児教育・保育の無償化の制度の仕組みと市の財政への影響は。

A こども支援課主席主幹 3

歳以上の未就学児童の幼稚園及び保育所の保育料が無償化される。また、認可外保育施設、病児保育事業、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターなどの事業も無償化に含まれるが、保育の必要性の認定が必要となり、上限額が設けられている。保育料の無償化による負担部

分は、公費で賄うことが大前提になっており、元年度に掛かる経費は、国の臨時交付金で全額賄われる。2年度の市の負担分については、消費税引上げ部分などで賄われる。



戸籍・住民基本台帳管理運営事業

Q 交付金増額の要因は。

A 市民課長 マイナンバーカードの交付件数や更新手続の増加などにより、地方公共団体情報システム機構の業務が増加したためである。



社会参加促進事業

Q 事業費の増加の内容とその要因は。

A 障害者福祉課長 福祉タクシー利用の申請数増加に伴い追加した。高齢化の進展によるタクシー利用の増加が要因と考えている。

生活保護費

Q 生活保護の医療扶助の増加と全体の傾向は。

A 福祉政策課長 医療費増加の要因としては、入院患者の増加が主な要因であり、高齢者世帯の増加やこれまで保険適用外だった新薬が保険適用になったことなども影響したと考える。

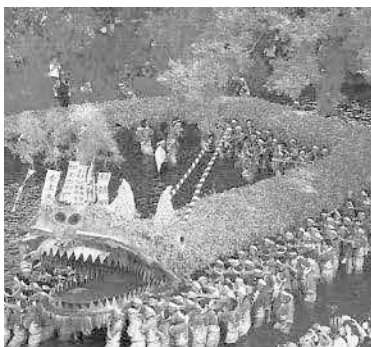
全体の傾向としては、この5年間で受給者世帯数が少しずつ伸びている。受給者数は増減を繰り返してはいるが、横ばいである。

ふるさと振興発信事業

Q ガバメントクラウドファンディングが目標額まで至らなかった原因は。

A 産業振興課長 ガバメントクラウドファンディング用のサイトに接続する必要があっ

たが、本市が利用している通常のふるさと納税のサイトからは接続できるように設定されていない。また、直接の原因であるか分からないが、同時期に台風や沖縄県の首里城の火災などの被害に対する寄附も行われたため、そちらへ寄附が流れたことも1つの要因と考える。



国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計財政調整基金積立金に要する経費等を補正するものです。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金に要する経費を補正するものです。

介護保険特別会計

介護給付費準備基金積立金に要する経費等を補正するものです。

次回定例会のお知らせ

今回の令和2年第2回定例会は、5月29日(金)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。

ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>



鶴ヶ島市議会

検索

一本松土地区画整理事業特別会計

土地区画整理事業に要する経費を補正するものです。

若葉駅西口土地区画整理事業特別会計

土地区画整理事業に要する経費等を補正するものです。



若葉駅西口周辺

鶴ヶ島市議会議員政治倫理条例を制定しました！

昨年5月の議長選挙の所信表明を踏まえ、議会改革の一環として検討を進めていたもので、議員提出により、全会一致で可決しました。

本条例は、本市議会議員が遵守すべき政治倫理に関する行動の規準を定めることにより、議員の政治倫理の確立を図り、市民から信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とするものです。

本市議会議員は、政治倫理規準を遵守してまいります。

議員互助会研修で講演を拝聴

令和2年1月28日、鶴ヶ島市議会議員互助会の研修で、早稲田大学マニフェスト研究所の事務局長である中村健氏を招き、「市民から期待される議会になるう」をテーマとした講演を拝聴しました。

同研究所で調査・分析したデータや他自治体議会の事例を参考にした講演が進められ、期待される議会になるには、議会内における住民の意見発表や議会と住民が直接対話する場などが重要との内容でした。



今後の議会改革に生かしていきます。

先進事例の視察・研修

大空・つるがしま未 島田市こども館(多機能複合施設)の取組

元年10月29日、静岡県島田市の「島田市こども館」を視察しました。こども館は子どもにとってまさに遊園地。リピーターも多いとのこと。また、児童書の蔵書が豊富な図書館等が併設され、多世代が集まれるスペースが整備されました。一方、本市は室内外ともに子どもの遊び場が少なく、ハード面の整備が課題となっています。今後の整備においては、財政的なことはもとより、市民活動支援の場としても、多機能複合施設が有効であると思われました。





あなたの声を市議会に

～ 請願・陳情の出し方を紹介します～

請願や陳情は、皆さんの要望を直接政治に反映させる方法の一つです。

- 1 請願には、紹介議員として1人以上の市議会議員の署名が必要です。紹介議員がない場合は、請願ではなく、陳情となります。
- 2 件名、要旨、理由を簡潔に記載してください。
- 3 提出年月日、請願者の住所（法人の場合は所在地と名称）を記載し、請願者（法人の場合は代表者）が署名してください。
- 4 複数人で請願を出す場合は、代表者を1人決めて（外〇〇人）と記載してください。
- 5 請願はいつでも受け付けていますが、3月・6月・9月・12月に開催される定例会ごとに期限を定めています。
- 6 陳情書は、請願書の書式に準じて作成してください。
- 7 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

《請願書書式例》

(表紙)

〇〇〇〇に関する請願書

請願者 住所 〇〇〇〇〇
氏名(請願者(代表者)の署名)
(外〇〇人)

紹介議員 (署名)

《署名簿の書式例》

- 1 件名 〇〇〇〇に関する請願
- 2 要旨 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 3 理由 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

上記のとおり地方自治法第124条の規定により、請願します。

鶴ヶ島市議会議長 〇〇〇〇 様
署名欄

住 所	氏 名

※ 請願者が複数の場合は、署名簿を添えてください。

請願者による
意見陳述の試行
も行っています。



書式例は議会のホームページからダウンロードできます。

ホームページはこちらから

— 市民と議員の懇談会 — の開催を延期します 議会報告会2020

市民と議員の懇談会の開催を5月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期いたします。

開催日等が決まりましたら、市議会だよりやホームページなどでお知らせいたします。



前回の議会報告会の様子

本会議及び委員会を インターネットで配信

議会でのやり取りを積極的に公開し、議会をより身近なものにするため、本会議のほか、常任委員会及び特別委員会の様子をインターネットで配信しています。

配信には、生中継と録画中継があります。

録画中継は、当日の会議終了後1週間程度で御覧いただけます。



インターネット議会中継の画面

会議録を御覧ください

議会の会議録は、中央図書館や市役所情報公開コーナー、議会図書室で御覧になれます。

また、ホームページにも掲載していますので、どうぞ御利用ください。

なお、会議録の作成は、議会閉会后2か月程度かかります。第1回定例会（3月議会）の会議録は、6月初め頃から御覧になれます。



市民・団体 インタビュー

鶴

×

市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

市民の皆様は議会への関心を持っていただくとともに、聴取した意見を議会からの政策提言等につなげていくため、市民や団体にインタビューをします。その内容を今号からの裏表紙に掲載します。



鶴ヶ島西中学校出身で、本市のふるさと応援大使でもある3人組バンド「鶴」。

これまでも地元愛にあふれる活動を行ってきた彼らですが、昨年10月には、本市初の野外フェスとなる「鶴フェス」を鶴ヶ島市運動公園で開催し、全国から約1万1000人が来場しました。(上の写真：左から神田雄一朗氏、秋野温氏、笠井“どん”快樹氏)



● 鶴ヶ島に対する思い

ノリで決めたバンド名「鶴」でしたが、今思えば、当初から郷土愛があったのだと思います。鶴ヶ島に対する思いが冷めていた時期もありましたが、バンドを始めて全国を回る中で、自分たちには「地元」があり、それは、ほかのバンドにはない特徴であると気づきました。

全国で活動していますが、鶴ヶ島市民であれば全員が知っているというバンドになりたいです。

● 議会への関心

バンドマンは、投票に行く人が多いです。個人事業主であり、好きなことを仕事にしているためか、社会人としての責務を果たそうといった空気があります。

● 「鶴フェス」を開催

運動公園で行われている産業まつりにライブ出演した際、市職員と野外フェスの開催についての話で盛り上がりましたが、本当に開催できると思いませんでした。

鶴ヶ島の飲食店とコンタクトを取り、出店してもらいましたが、他の有名フェスと比べてもクオリティが高かったです。



「鶴」のメンバーとインタビューを行った議会報編集委員会

ファンの方からも同様の意見を聞いています。

● 鶴ヶ島はちょうどいい

音楽活動をするに当たっては、地方の方が自由が利くので、ずっと都会にいない必要はないと感じています。

都会に近い鶴ヶ島は、ちょうどいい位置にあると思います。

● 鶴ヶ島をこうしたい

チャレンジができる環境、何かに取り組むきっかけや、そうしたことを知る機会があるまちなってほしいです。

小・中学生に楽器を教える機会があればやってみたいですね。演奏だけでなく、編集や配信まで教えられると面白いですね。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます！

編集 後記

北公民館（現・北市民センター）で腕を磨き、鶴ヶ島から飛び立った「鶴」の3人。3月4日にリリースされたアルバム「普通」には、鶴フェスに向かっていく時の気持ちがかもっている曲もあると聞きました。アルバムのジャケットは、鶴ヶ島駅東口の駐輪場。彼らの鶴ヶ島市への想いが、強く感じられます。

今回、「鶴」のメンバーと話をし、次世代を担う子どもたちにとって、愛着の持てるまちづくりをしていくことの重要性を強く感じました。

(内)

(議会報編集委員会)

委員長 大野 洋子
副委員長 出雲 敏太郎
委員 山中 基充
委員 小林 ひとみ
委員 太田 忠芳
委員 石塚 節子
委員 内野 嘉広
委員 持田 靖明